

藝 振



大分県芸術文化振興会議

文化立県の実現をめざして	1
第4回大分県民芸術文化祭・オープニングステージ	2
・開幕行事	2
・中幕行事	3
・閉幕行事	3
芸術文化フェスティバル主催共催行事	4
これからの補助事業	4
加盟芸術文化団体の紹介	5
新役員紹介	6・7
事務局だより	8

No.112

平成14.9

発行人：脇 正人 編集人：小手川義光 (題字：平 滋賢)



文化立県の実現をめざして

大分県企画文化部長
溝 畑 宏

県では、文化を鑑賞・発表する機会を拡充し、一村一文化を推進するため、県民芸術文化祭の開催や地域の文化活動への支援などにより、「文化立県大分」の実現をめざしています。また、本年6月の日韓共催ワールドカップサッカーでの多様な外国文化との交流は、大分の文化に彩りを加え、新しい大分の文化を創造する契機になりました。県民の皆様一人ひとりが、文化活動を通じて心の豊かさを実感するとともに、地域への愛着と誇りをもって地域づくりに取り組んでいただきたいと思います。

大分県民芸術文化祭は、「第13回国民文化祭・おおいた98」の成果と、過去34年にわたる歴史を持つ「大分県芸術祭」の伝統を継承し、県民の文化活動の発表の場と鑑賞の機会を広く提供するため、平成11年からスタートしました。今年の第4回大分県民芸術文化祭は、「世紀(とき)をつむぐ文化の風2002」をテーマに県内各地で多彩なイベントが開催されますが、県民総参加による文化の祭典として定着してまいりましたのも、芸術文化振興会議の皆様の日頃の活動と積極的なご協力の賜と深く感謝しています。

21世紀は「文化の時代」といわれています。文化は、それぞれの地域に根ざした、その地域ならではの気風であり、文化活動の盛り上がりは「地域力」を高める重要な要素です。

大分県芸術文化振興会議が、伝統文化を継承するとともに、新たな文化創造の場として、また全国・世界へ情報を発信する場として、さらに充実、発展することをご期待申し上げます。



後藤龍二 (県美協会員)

第4回 大分県民芸術文化祭



オープニングステージ

観客も役者も楽しいと思える舞台

「宗麟南蛮絵歌留多」 演出

豊 湧

第4回県民芸術文化祭オープニングステージ「宗麟南蛮絵歌留多」の稽古が始まって2ヶ月が過ぎた。当初は各方面の参加者との打ち合わせで終わりそうな印象だったが、今では全員が「良いモノを作りたい」一心で芝居に取り組んでいる。

今年は高文連の協力で初めて中学生や高校生が参加し、大人に混じって芝居作りをしている。本当の意味での「県民の為の芸術文化祭」になっていると自負している。もちろん少ない稽古日数で100人以上も参加者の心をひとつにまとめるのは難しい。「芝居は自分が目立つものではない。ひとつの芝居全部が貴方達全員の責任と力において完成するモノだ」と教えるにも随分と時間がかかる。

—ある日は悩んでいる。そんな私にアドバイスしてくれた人がいた。「この舞台には芝居経験も年齢性別も様々な人達が参加している。せめてその人たちが納得のいく舞台を作りなさい。参加者さえも納得のいかない舞台ならば観客も納得しない」と。—

そして「演劇」にはそれをコトバとして云わずとも、関わる者を一つにしてしまう魔力がある。今オープニングステージは演劇の魔力を得て、あとは観客を待つばかりである。



開幕行事

小さな町の大きな行事「青の洞門」

大分県県民オペラ協会

会長 小長久子

第4回大分県民芸術文化祭開幕行事に菊池寛原作『恩讐の彼方に』をオペラ「青の洞門」として原嘉寿子台本・作曲で創作、上演できますことをうれしく思います。

このオペラの制作上演には地元本耶馬溪も町を挙げて取り組んでおり、多数の町民の“村人”“コーラス”への参加は私共の大きな力となっております。

また今回も舞台美術・衣裳に国際的な評価の高い朝倉撰先生、照明に室伏生大氏、舞台監督金子芳浩氏と第一線の方を、さらにこの度ブザンソンコンクール2位に入賞された県出身の山田啓明氏を指揮者に迎え、期待できる舞台になることと思います。

10月6日(日)14:00グランシアタ・11月2日(土)18:00本耶馬溪洞門の広場での野外オペラ、平成15年1月25日には「舞台芸術創造フェスティバル」に選ばれて東京文化会館で上演します。

3900人の小さな町の大きな文化。了海の偉業は生命の尊さ、奉仕の心、忍耐、そして恩讐を超えた友情の美しさを私たちに教えてくれ、生きる力を与えてくれます。



中幕行事

10周年の洋楽・邦楽の交流音楽

大分県音楽団体協議会

会長 丹 羽 登

私ども大分県音楽団体協議会は今年結成10周年を迎えました。これを機に第4回大分県民芸術文化祭芸術文化フェスティバル中幕行事として10月27日オアシスひろば21「音の泉ホール」で音楽会を開催します。

県音楽団体協議会は、様々なジャンルのアマチュア音楽団体が集い、お互いに情報交換、活動協力、地域文化振興をコンセプトに結成し、平成4年から毎年音楽会を開催して参りました。

今回は「とき（世紀）おと（音楽）かぜ（文化） 2002音の祭典」のタイトルで洋楽、邦楽、さらに声楽、器楽などの団体が参加して行います。ハーモニカ、横笛といった出演団体の構成だけでもバラエティに富んでおりますが、それぞれのプログラムも民話や伝説を取り入れるなど工夫を凝らしており、楽しい「音楽祭」になることと思います。

「スタンスはアマチュア、感性はプロをめざして」をモットーに、今後とも私どもの趣旨に賛同する音楽団体の力を合わせて作品の発表に精進したいと思います。



閉幕行事

民謡の祭典

大分県民謡連盟

会長 安 東 陽

菊薫る好季節の中、第4回大分県民芸術文化祭の開催にあたり、私ども大分県民謡連盟が閉幕行事を受け持つことになりました。

舞台では大分県民謡をはじめ全国各地の代表的な伝承民謡の数々約40曲を唄と踊りでご紹介します。

私たちが勉強する日本民謡の世界にあっては「数多くの唄を知る」ことはもちろん大切な事ですが、その中に歌い込まれた先人達の「心の文化を学び取る」というのはさらに重要な事です。今にして思えば現代とは比較にならないほど厳しい環境にあったはずの往時の人々が、何故にあれほどまでに「豊かな心」を持ち得たのか不思議な思いすらします。

何かと慌しい昨今の世情にあって「民謡」という古い日本の伝統芸能を通して往時の生活文化に触れることによって、今一度日本人としての「心の豊かさ」を考え直してみる機会にしたいと思います。

大分県民謡連盟の代表920名に加えて、大分県民踊連盟の賛助出演を合わせて1100名の大舞台にご期待ください。

芸術文化フェスティバル主催共催行事

行 事 名	主 催 団 体	開 催 月 日	開 催 場 所
開幕行事 オペラ「青の洞門」	オペラ「青の洞門」実行委員会	10月6日(日) 14:00~16:00	大分県立総合文化センター グランシアタ
中幕行事 とき(世紀)おと(音楽)かぜ(文化) 2002音の祭典 音団協第10回音楽会	大分県音楽団体協議会	10月27日(日) 13:30~16:30	大分県立総合文化センター 音の泉ホール
閉幕行事 民謡の祭典	大分県民謡連盟	11月24日(日) 13:00~15:30	大分県立総合文化センター グランシアタ
第38回大分県美術展	大分県美術協会	10月1日(水)~10月20日(日)	大分県立芸術会館
共催行事 第36回大分県俳句大会	大分県俳句連盟	10月11日(金) 10:00~16:00	大分市コンパルホール
続・しゃべくり婆さん・魔法の杖	大分県民演劇制作協議会	11月3日(日) 13:30~15:30	大分県立芸術会館
第34回大分県川柳大会	大分県番傘川柳連合会	11月4日(月) 9:00~17:00	大分文化会館
歌曲の会第10回記念演奏会 「海をわたってきた愛唱歌」	歌曲の会	11月8日(金) 19:00~21:00	大分県立総合文化センター 音の泉ホール
劇団OTC第22回公演「花の紅天狗」	劇団OTC	11月17日(日) 18:30~20:30	大分市コンパルホール
第38回大分県短歌コンクール	大分県歌人クラブ	11月17日(日) 10:00~15:00	大分文化会館

これから開催される補助事業

実施時期	事 業 名	会 場	主 催 団 体
平成14年10月6日	第42回邦楽定期演奏会	コンパルホール	大分県三曲協会
10月13日~12月15日	第31回佐伯市芸術祭	佐伯市文化会館他	佐伯文化振興会
10月13日	大分県太鼓連合チャリティコンサート	はさま未来館	大分県太鼓連合
10月25日~27日	第55回大分県高等学校中央演劇祭	安心院町文化会館	大分県高等学校文化連盟
10月26日~27日	第38回大分県人形劇フェスティバル 第14回湯布院人形劇カーニバル	湯布院町中央公民館	大分県人形劇サークル協議会
10月26、27日	第44回臼杵市秋の文化祭	臼杵市民会館	臼杵市文化連盟
10月29~11月4日	創元会大分支部展	大分県立芸術会館	創元会大分支部
10月29~11月4日	第37回豊光会展	大分県立芸術会館	豊光会
11月1日~24日	第32回国東町総合文化祭	国東総合文化センター	国東町文化協会
11月8日~10日	第39回山香町総合文化祭	山香町中央公民館他	山香町文化連盟
11月9日、10日	第32回津久見市文化祭	津久見市民会館	津久見市文化協会
11月14日~20日	第25回大分県俳画協会作品展	レインボービル	大分県俳画協会
11月17日	第33回日本興道吟詩会 大分県本部吟詩舞道大会	大分県市町村会館	関心流日本興道吟詩会大分県本部
11月17日	第39回大分県児童文化祭	はさま未来館	大分県児童文化研究会
11月22日~27日	第12回おおいパッチワークキルトフェスティバル	別府トキハ会館1階センターモール	大分パッチワークキルト協会
11月29日	第31回「グループUNO」コンサート	音の泉ホール	グループUNO
12月3日~8日	第32回大分県日本画展	大分県立芸術会館	大分県日本画協会
12月17日~23日	新潮流展'02	大分県立芸術会館	新潮流の会
12月21日	第28回大分県吹奏楽アンサンブルコンテスト	音の泉ホール	大分県吹奏楽連盟
12月22日	結成20周年記念 第18回大分市少年少女合唱団定期演奏会	大分県立芸術会館	大分市少年少女合唱団
平成15年1月28日~2月2日	水彩連盟大分支部展	アートプラザ	水彩連盟大分支部
2月9日	大分県庁職員吹奏楽団アンサンブルOITA合同演奏会	大分県立芸術会館	アンサンブルOITA
2月16日	平成14年度大分県合唱講習会	コンパルホール	大分県合唱連盟
3月11~16日	第24回九州国画写真展	大分県立芸術会館	九州国画会
3月24日	大分ジュニアコーラス定期演奏会 瀧廉太郎没後100年を記念して	イリス九電 コミュニティプラザ	大分ジュニアコーラス

詳しくは主催団体におたずねください。



日本刀名品展—ものの心の美—の開催について

日本美術刀剣保存協会大分支部 代表 菅原 二善

日本刀は機能的に優れているばかりでなく、美術品として見る人を感動させる美しさを持っています。洗練された刀の姿、精妙に鍛えられた地鉄、美しい刃文、中心の錆味、銘ぶりなど、鑑賞するたびに隠された美しさを発見することができます。又、日本刀は武士の魂と賞せられるように精神性をも帯び、神社のご神宝として祀られることがあることから宗教的なものをも内在しております。

今回、支部としては過去に例のない行事として、大分県の3支部（大分支部・別府支部・県北支部）が合同して「日本刀名品展」を10月22～27日県立芸術会館で開催します。

この名品展は日本美術刀剣保存協会（東京）の全面的な協力により、相州広光—伊達政宗公の愛刀・重要美術品 末国俊—上杉謙信公の愛刀・重要美術品ほか、日常会員も鑑賞することができない有名武将の愛刀など60余振りを展示するものです。特に若い方々をはじめ多くの方々に鑑賞していただき、刀剣の神秘的な美に対する理解を深めていただきたいと思います。



名刀鑑賞会風景



15周年記念大分県少年少女合唱祭を終えて

大分県少年少女合唱連盟会長 尾野 美智雄

「県下で活躍している少年少女合唱団が発表し交流する機会を持つては」と前会長杉田信男先生の呼びかけで始まったこの合唱祭も今年15周年を迎えた。

目的に(1)合唱技能の習熟 (2)青少年の健全育成の2つを掲げている。

今回は、15周年記念として北九州市少年少女合唱団をゲストに招き、10団体444名の参加者を得て、盛り上がりのある合唱祭となった。

この合唱祭の良さは、なんととっても統一されたステージになっているということだと思う。それぞれの合唱団の良さが見える合唱祭といっても良い。

もう一つの楽しさは、子どもたちが歌っている姿であろう。ちょっとした身振り手振りが可愛いだけでなく観るものに感動を与えてくれる。さらに、あの頭声的な発声と児童合唱独特の響きの美しさは魅力的である。



15周年記念大分県少年少女合唱祭オープニング
(指揮) 佐藤俊文 (玖珠少年少女合唱団指揮者)

新役員紹介

このたび大分県芸術文化振興会議規約第11条の7により役員改選がおこなわれ、6月18日開催の平成14年度通常総会において選出、承認されました。前回平成12年の役員改選の後、団体の代表者変更に伴い役員に就任された方を含め9名の新役員の方々をご紹介します。

常任理事

佐藤 朱音

他分野の方々との交流、協力がいかに貴重なものであるか実感してまいりましたので、芸振の方針である「芸術文化団体の自主的な活動の拡大促進を図る」というのも、言葉こそ難しいですが、互いに敬意を払って新しい出会いを期する、それが自らの成長になると思っております。

芸振も今日、大きな総合文化団体へと発展しましたが、こうした素朴な心、原点への思いをさらに大切にしていかなければと思います。多彩多様な能力を結集している芸術文化振興会議は今後も一層の社会貢献を期待されています。微力ながら私も芸術文化を通して人が人間らしい豊かな心を保ち続けられるように努めたく思います。



理事



伊勢 方信 (大分県歌人クラブ)

県歌人クラブは、昭和3年に浅利良道・原常雄らが中心となって創刊した「大分歌人」に源を発しており、現在26支部617人の会員を有しています。ただ、近年、歌人の高齢化による課題も生じ、各種大会等を通して、才質豊かな若手歌人の発掘を図り、ようやく成果が顕れてきたところです。

このような現実を背景として理事にご推輓をいただきましたからには、他ジャンルとの連携を密にして、県芸術文化の更なる振興に向けて、努力を重ねてまいりたいと思います。

平 晟齋 (大分県美術協会書道部会)

書道という限られた分野から、いきなり芸術文化のすべての分野を統括する芸術文化振興会議に身を置くようになって戸惑いを感じています。所属する団体すべてに目を向けることは至難の技であります。あせらずに少しずつ視野を拡げ、諸団体とも交流していきたいと思っています。

微力ながら大分県の芸術文化の振興に寄与できるよう書道部役員ともども努力して参ります。



渡辺 恭英 (大分県美術協会日洋彫工部会)

第13回国民文化祭・おおいた98を機に、大分県は“文化元年”を掲げて芸術文化の振興に力を入れていくことを平松知事が明言されました。心の時代といわれる21世紀の大分にとってこのことは誠に心強い限りです。

美術協会、日洋彫工部会の代表として芸振理事の大役を仰せつかりました。理事会は学識経験者を除いてそれぞれ団体代表で構成されているようです。バランスの取れた芸振運営のお役に立てばと思っています。



野仲 矢山 (大分県三曲協会)

21世紀は「心の豊かさ」が強く求められる時代ともいわれます。
平成14年度からは中学校で和楽器の指導が始まるなど、このところわが国の伝統芸術の良さを今一度見直し、これらを若い世代へ確実に伝承しようという動きが見られます。
邦楽界もこれをよき契機として、各自の更なる研鑽と関連各位のみなさんとの交流を深めながら、伝統音楽の普及、振興のために微力ながら尽力していきたいと思ひます。

宮本 修 (大分県合唱連盟)

今、全国で1000万人の人々がコーラスを楽しんでいるとのデータがあります。学校、職場、PTAコーラス、公民館活動、各種文化教室、児童合唱、お母さんコーラス、市民合唱（第九を歌う会等）、多種多様な活動がなされています。県合唱連盟の代表として、この度芸振理事を仰せつかりました。このうへは他のジャンルの方々と相交わり、県民の芸術文化の更なる活性化のため、若輩者ではございますが、エンジン全開で臨む覚悟であります。



湯原 恭子 (おおいた洋舞連盟)

おおいた洋舞連盟として国民文化祭の後、いろいろなジャンルの団体が一つとなり発足して今日まで順調に歩んできました。芸振に再加入という形のスタートでしたが、自主的な活動の促進を図るとともに、他ジャンルの文化と協力して活動できたらと思っております。

この度連盟会長が常任理事に就任いたしましたので、私が団体代表理事として就任いたしました。微力ながら努力したいと思っております。

横田 耕作 (大分県高等学校文化連盟)

表題にそぐわないのだが、高文連の理事長となったと同時に理事に就任したので、今年で2年目となり、当然遠い記憶をまさぐりつつとなる。

恥ずかしい話だが、大分県芸術文化振興会議とはどういった組織なのか、事前の知識もないままに、最初の会議に出席して、えらく自分が緊張していたのを思い出している。2年目になっても、大した仕事はできていないのだが、微力ながらも、大分県の文化振興に努めてゆきたいと考えている。



今永 一成 (大分県立芸術会館)

今年度が開館25周年に当たる芸術会館は、美術館・文化ホールともに多くの人々に利用され、その数は6百万人を超えました。

今年の国民生活世論調査では、今後の生活について「心の豊かさに重きを置きたい」と考えている人の割合が過去最高を記録しました。心を豊かにする芸術文化の重要性は、今後益々高まるものと考えられます。

皆様の活動の場である施設から選ばれたものとして、会の目的であります芸術文化の振興に微力を尽くしたいと思っております。

事務局だより

▽ 大分県民芸術文化祭

第4回大分県民芸術文化祭はオープニングステージ「宗麟南蛮絵歌留多」9月29日(日) 13:30～大分県立総合文化センターグランシアタで幕を開けます。文化祭期間中各地で多くの行事が予定されております。どうぞご覧ください。

▽ 提出書類について 提出期限：10月31日(木)

- ・平成15年度補助事業計画書
- ・平成15年度芸術文化基金事業公演希望調査表
学校巡回公演・ファミリー芸術劇場・文化キャラバンの公演を希望する団体は提出してください
- ・平成15年度海外派遣研修推薦書

大分県文化年鑑2001の在庫に幾分余裕があります。ご希望の会員にお分けしますので、事務局までご連絡ください。

▽ 会費納入のお願い

14年度会費の納入が済んでいない方は早目に納入してください。振込用紙(郵便局・振込手数料芸振負担)が必要な場合は事務局までご連絡ください。お送りします。

個人会員証の利用について

個人会員証で芸振の主催事業・芸術文化基金の補助事業に無料で入場できます。これから開催される補助事業は4頁に掲載しています。また、芸振の主催事業(学校巡回公演・ファミリー芸術劇場・文化キャラバン)については紙面の都合で掲載できませんので、芸振事務局におたずねください。

新 会 員 紹 介

■ 団体会員

部門	団体名	事務局所在地	代表者氏名	事務局長氏名	団体の目的	会員数	設立年月日	設立後の経過
美術 35	アートin遊々		小米良洋子	小米良洋子	大分県美術協会の女性会員で構成。各自の作品の向上と研鑽に努め、励ましあいながら絵を描き続ける事を目的とする。	4名	平成13年 10月1日	・平成14年7月16～21日 大分県立芸術会館で作品展を開催予定。その後は年1回の作品展を予定している。
音楽 85	白鳥光ピアノ会		白井 光義	伊東 昭三	ピアノを通して互いの成長をはかり、地方音楽界の発展の一助に寄与する。	30名	平成10年 4月1日	・研究会、演奏会、研修旅行等を定期総会において決定、開催した。 ・1999 白井光義ピアノ独奏会 ・2000 白鳥音楽会 白井光義と二人のリトルピアニストによる「ピアノの夕べ」
舞踊 21	中山民俗舞踊研究所 大分県支部		中山 芳近	神 信子	日本民謡その他舞踊全般の研究。	300名	昭和50年 5月	・3年ごとに支部発表会を開催。また、同会員は大分県民踊連盟。大分県フォークダンス連盟、その他各市町村文化団体にも所属、文化活動を行なっている
生活 文化 7	ワールド・プレスフラワー協会大分県支部		安松 裕子	安松 裕子	協会認定の講師を中心に、押し花制作の知識向上、技術開発を通して会員間の親睦を図るとともに、押し花の普及に努めることを目的とする。	78名	昭和63年 4月1日	・第13回国民文化祭・おおい98出展 ・国民文化祭ぐんま2001出展 ・大分県支部展の開催

■ 個人会員

氏 名	住 所
宮本 修	大分市舞鶴町2丁目8-25

平成14年度役員名簿

役職名	氏 名	役職名	氏 名	団 体 名	役職名	氏 名	団 体 名
顧 問	河野 彰	監 事	首藤 悦爾		理 事 (団体代表)	糸永 信義	県吹奏楽連盟
	仲町 謙吉		麻生 和江			渡邊 協霊	日本詩道会
	野崎 哲		倉田 紘文			安東 陽	大分県民謡連盟
	秋月 睦男		中野 幸和			宮本 修	県合唱連盟
特別会員	菅 久	常任理事	幸島 光義		花柳笹之丞	県日本舞踊連盟	
	大崎 聡明		佐藤 朱音		伊坂 香里	県民踊連盟	
	尾登 一信		伊勢 方信	大分県歌人クラブ	湯原 恭子	おおい洋舞連盟	
	木村 成敏		猪俣 吞童	県番傘川柳連合会	清末 典子	県民演劇	
会 長	脇 正人	理 事 (団体代表)	平 晟齋	県美協(書)	理 事 (学識経験者)	横田 耕作	県高文連
			河野 公記	県美協(写)		佐々木均太郎	別府大学教授
			渡辺 恭英	県美協(美)		狭間 久	大分合同新聞
			山本 勝彦	県音楽協会		豊田 寛三	大分大学教授
副 会 長	中沢とおる 小長 久子 脇坂 秀樹	恵藤 美紀	県民オペラ協会	理 事 (関連行政機関)	佐藤日出美	大分市教委	
		野仲 矢山	県三曲協会		今永 一成	県芸術会館	
		上田 耕作	県軽音楽連盟				

事務局員

役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名
事務局長	小手川義光	文化振興課長	事務局長	久保木真人	県美術協会
事務局次長	梶原 俊彦	文化振興課参事兼課長補佐	事務局	池田 リエ	事務局職員
			事務局	山蔭 政伸	文化振興課課長補佐
				衛藤 照美	文化振興課主査